

## 初級日本語学習者の聴解授業における 映像教材に関する一考察

趙 英梅

学位取得年月：平成20年3月

取得学位名：人文科学修士

学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 初級日本語学習者、聴解授業、映像教材、視聴覚

【要旨】

本研究は初級学習者を視聴覚グループと聴覚グループに分けてまったく同じ内容のテレビドラマを流して両グループの内容理解面での違いを明らかにした。語彙、文、ディスコースの3レベルにおいて比較を行った結果、語彙と文レベルでは違いがみられなかったが、ディスコースレベルでは、視聴覚グループは推測を行って内容を理解していることが明らかになった。また、時間がたつことにより、映像教材の内容は学生がまだ鮮明に覚えられていることに対し、音声教材の内容は学生がほとんど覚えていないことがわかった。映像教材は学生の既有知識を引き出し、自信を持たせていることもわかった。

(ちょう えいばい)

## 日本語学習者の語彙推測 — 中国語母語話者の場合 —

陳 明淑

学位取得年月：平成20年3月

取得学位名：人文科学修士

学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 語彙推測、漢字手がかり、文脈手がかり

本研究では文章の中で未知語に出会ったとき学習者は語の構成要素と文脈からの情報を合わせてよりよい語の意味を推測できるか、中国語を母語とする日本語学習者は漢字手がかりに偏りすぎるかを検証することを目的とした。中国語を母語とする初級日本語学習者（中国在住）を対象に実験を実施した。漢字条件と文脈条件を合わせた条件を提示したときの正解率が、漢字のみ条件と文脈のみ条件での正解率より高かった。その結果、中国語を母語とする日本語学習者は文脈からの情報と漢字からの情報を組み合わせることで一種類の手がかりを使うよりより深い理解ができることを検証された。漢字条件と文脈条件を合わせた条件を提示したとき、漢字手がかりを使って選択した確率が文脈手がかりを使う確立より低いことを検証された。

(ちん めいしゆく)